

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 60号

2013/08/05 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：調整幅の値動きが続いている為、大きな変動はなし。

①週最高：LDN 市場 £1,566 / NY 市場 \$2,301 (8/1)	先週比 LDN - £23 / NY - \$59
②週最低：LDN 市場 £1,537 / NY 市場 \$2,280 (7/29)	先週比 LDN - £30 / NY - \$53
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場 £29 (傾向→) / NY 市場 \$21 (傾向→)	
週内建玉推移：LDN 市場 218242 枚 (7/26 終了時) ⇒ 213431 枚 (8/1 終了時)	-4,811 枚
NY 市場 178630 枚 (7/26 終了時) ⇒ 174478 枚 (8/1 終了時)	-4,152 枚

【7月29日(月)】続落

活発な商いの中、ニューヨーク、ロンドン市場いずれも続落した。ニューヨークの9月きりは53ドル(2.3%)安の**2280ドル**で、ロンドンの12月きりは30ポンド(1.9%)安の**1537ポンド**で引けた。

ここ2週間の値上がりだが、ガーナの販売を引きつけた。ブローカーの推計では、同国の2013~14年度産販売量は約45万トンに達した。総販売量は90万トンに達する可能性がある。

ただ、ディーラーによると、西アフリカでは最近の乾燥により、収穫見通しが悪化しており、今後の相場を下支えする公算が大きい。コートジボワールの輸出高は28日までに138万3000トンと、1年前と比べ6%増加している。

【7月30日(火)】ニューヨーク、ロンドンとも反発

ココア先物は反発。カカオ豆主産地のコートジボワールでは、降水量が平年を下回り、新穀の作柄に懸念が浮上しており、現地の天候に関する情報が注視されている。

ニューヨーク市場の9月きりは、7ドル(0.3%)高の2287ドルで終了。ロンドン市場の12月きりは、10ポンド(0.7%)高の1547ポンドで引けた。

【7月31日(水)】両市場とも続伸

両市場とも続伸。

ニューヨーク市場の9月きりは11ドル(0.5%)高の2298ドル、ロンドン市場の12月きりは

15ポンド（1%）高の1562ポンドでそれぞれ取引を終えた。

【8月1日（木）】両市場とも続伸

両市場とも3営業日続伸。

ニューヨーク市場の9月きりは、3ドル（0.1%）高の**2301ドル**で引けた。

ABNアムロ・マーケットツのココア取引責任者は「薄商いの中、相場は不安定になっている」と述べた。

ロンドン市場の12月きりは、4ポンド（0.3%）高の**1566ポンド**で終了。

【8月2日（金）】NY、LDNとも反落＝産地の降雨予報で

コートジボワールでの降雨予報を背景にした売りにニューヨーク、ロンドン両市場ともに反落した。

ニューヨーク市場の9月きりは10ドル（0.4%）安の2291ドルで終了。

RJOフューチャーズ（シカゴ）の上級市場ストラテジスト、ヘクター・ガルバン氏は、「コートジボワールで来週初めに降雨が予想されており、これが利食い売りにつながった」と指摘した。ロンドン市場の12月きりは11ポンド（0.7%）安の1555ポンドで終了した。

2、欧州市況：ココアバターレシオは強い需要を背景に引き続き更に上昇(8/3)

トレーダー筋が今週金曜日に語った状況では欧州市場でのココアバターのレシオはチョコレートメーカーが在庫の積み増しに動いている動きがあることから引き続き上昇しているようだ。

『レシオが引き続きかなりの上昇を見せているので、業界からは追加の引き合いが入ってきており、来年の第1四半期、第2四半期積みの契約をカバーする動きがある』と欧州のトレーダーは言う。

『レシオは急激に下がることがなさそうと彼等は考えており、供給を確実に抑える方を優先している』
2013年の8-12月荷渡しのバターレシオはロンドン市場に対して現在、**2.4**まで上昇しており、先週の2.3、4月の1.89よりも更に上昇している。

また、部分的にはあるが、北米の経済全体が持ち直してきていることを要因に、チョコレートの需要も改善傾向にあるという。

一般的にチョコレートの需要の成長はGDPの成長を追うように推移する。

『需要は数か月前に予測した時よりはいくらかは上昇している。もし大手チョコレートメーカーに質問すれば、全社が予測よりは需要は良いと答えるだろう』別の欧州のトレーダーは説明する。

上昇中のバターレシオと安定したココアパウダーの価格により、カカオ豆の価格に関連するココアバターとココアパウダーの平均販売価格を示す、平均カカオレシオは下支えされている。

この平均カカオレシオが上昇することは、すなわちカカオ豆磨砕業者にとってよりよりマージンが獲得できていることを示している。

第2四半期のカカオ磨砕数量は欧州でもアジアでも北米でも前年対比で上昇した。

『前回の欧州の磨砕数量報告は僅かに復調を示したが、非常に良かったわけではない』トレーダーは言う。

『磨砕数量が回復して伊きているので、平均カカオレシオは昨年よりは上昇しているが、まだ決して凄く良いレベルではない』

トレーダーによれば、カカオ豆の需要は現在西アフリカの産地のミッドクロップとメインクロップの隙

間の時期ということもあり弱い状況だ。

カカオ豆のプレミアムはコートジボアールでロンドン先物市場 12 月限月に対して+65 ポンド/トンで先週と変わらず、ガーナも 12 月限月に対して+95 ポンド/トンで変わらずの状況である。

3、インドネシア 2013 年のカカオ生産数量予測は 93.8 万トン(8/2)

インドネシアの農業大臣は金曜日カカオを含むいくつかの農作物（コモデティ）の生産数量の予測を発表した。下記がその数値である。

商品名	2013 年予測	前回予測
Cocoa beans	938,840	
Coffee beans	666,050	
White sugar (百万トン)	2.71	2.82
Crude palm oil (百万トン)	24.43	27.05
Rubber (百万トン)	3.18	2.77

4、アジア市況：ココアバターレシオは数年間での最高値、供給にタイト感あり(8/1)

- ・バターはロンドン先物市場価格に対して 2.15-2.2 レシオで販売された
- ・ココアパウダーはトン当たり \$2000~\$2300 に価格が下降

アジア市場ではココアバターは供給がタイトなことからレシオは過去数年間で最高値を付けているもののチョコレートメーカーはココアバターの買付けを素早く行っており、一方でココアパウダーの価格は在庫過多により価格は若干下落している。

『ココアバターは引き続き良いポジションにある』シンガポールベースのトレーダーは言う。『直近の供給についてはまだタイト感がある。供給がタイトな要因の一つは需要が強い事であり、もう 1 つは磨砕業者側の帳簿（バターの販売とパウダーの販売）の不均衡さである

今週、ココアバターは即積み出し条件で、ロンドン先物市場に対して先週は 2.11-2.12 レシオであったのに対して今週は 2.15-2.2 レシオで取引された。この値はトレーダーによれば 2009 年以来の最高値。

インドネシアとマレーシアのココアトレーダーによれば、現在のココアバターの強い需要は最大の需要国であるアメリカの景気が回復してきていることに起因していると説明している。

『今は、カカオの価格も上昇しており、レシオも同様に上昇している』『アメリカ市場からのココアバターの引き合いは非常に多い』マレーシアのトレーダーは言う。

今週、ココアパウダーは引き続き販売の圧力の中にあり以前の \$2000-\$2200/トンから僅かに変化し \$2000-\$2300/トンの間で案内されていたが、Eid al-Fitr holidays（ラマダン明け休暇、一般的には 8/8-8/15）を来週に控えて商いは細かった。

『ココアパウダーの需要は強くなりそうにもないし、反転しそうにもない』シンガポールのトレーダーは予測する

来年にはインドネシアのカカオ豆磨砕数量は今年対比で 25%上昇し 50 万トンに達する見通しであるとインドネシアのカカオ産業界は先週発表し、この拡張によりインドネシアを含むアジア地域でのチョコ

レート関連商品の増加する需要に対応出来ると述べている。

『この1、2カ月間はココアバターは単純に供給不足があった』『アジア市場でどの会社に聞いてもオファーがどこからも出てこなかった』シンガポールベースのトレーダーは言う。

『今、パウダーは販売するのが非常に難しい。そして価格も非常に低いのでパウダーの新規買付けがない中でココアバターだけを売るリスクをだれも取りたくない状況だ』『ただ、バイヤー側はココアバターを買い付ける必要がある』シンガポールのトレーダーは付け加えた。

5、インドネシア、7月度スラウェシ島カカオ豆輸出前年対比2%増加(8/1)

インドネシアの主要なカカオの生産地であるスラウェシ島からのカカオ豆の7月度の輸出数量は前年の8464.34トンから2%上昇し8671.88トンとなり、2012年の11月以来の月間最高出荷量に達したと発表した。

7月度のカカオ豆輸出数量は前月の6月から12%上昇した。

インドネシア全体の2013年の収穫数量は前年対比11%上昇の45万トンから50万トンになる見込み

《2012/2013 スラウェシ島からのカカオ豆輸出数量》

月	輸出数量(トン)	前年対比
2013年		
July	8,671.88	+2
June	7,773.00	+57
May	5,654.00	-21
April	5,781.25	-27
March	8,662.08	+147
February	7,790.50	-2
January	8,349.38	-6
2012年		
December	7,508.11	-38
November	9,417.71	-20
October	5,734.81	-17
September	17,240.14	+133
August	4,340.00	-48
July	8,464.34	-37
June	4,935.48	-68
May	7,114.46	-53
April	7,912.02	+404
March	3,505.66	-69
February	7,917.7	-20
January	8,904.25	-23

6、コートジのカカオ豆収穫数量 7月 28日までに 138.3 万トン(7/29)

世界最大のカカオ生産国であるコートジボアールのカカオ豆の港への着荷数量が 2012 年 10 月のシーズン開始から 2013 年の 7 月 28 日までで 138.3 万トンに到達したことが輸出業者の統計で判明した。これは昨年の同時期までの数量である 130.6 万より上昇した数量である。

7 月 22 日-7 月 28 日までの 1 週間では 11,000 トンのカカオ豆がアビジャン港とサンペドロ港の 2 港に着荷し、前年の同じ週の 12,000 トンからは減少した。

今週の関連記事) 中国、ニュージーランドの粉ミルク輸入を禁止=NZ 貿易相(8/5)

中国はニュージーランドとオーストラリアからの粉ミルクの輸入を全面的に禁止した。ニュージーランドの乳業大手フォンテラの一部製品からボツリヌス菌が検出され、安全面での懸念が浮上したため。ニュージーランドのグローサー貿易相が 4 日、明らかにした。

フォンテラは問題の製品を中国、マレーシア、ベトナム、タイ、サウジアラビアへ輸出、8 社に販売したとしている。

中国の昨年の粉ミルク輸入額は 19 億ドルで、このうち 90%近くがニュージーランドからとなっており、輸入禁止が長期化すれば、中国では海外ブランドの粉ミルクを含む乳製品に不足が生じる恐れがあるとエコノミストは指摘している。

問題の製品の一部が中国や他国へ送られる前にオーストラリアへ輸出されたため、同国からの輸入も禁止された。

ニュージーランドのグローサー貿易相はテレビ・ニュージーランドに対し、「中国当局はニュージーランドの粉ミルクをオーストラリアとニュージーランドから輸入することを全面的に禁止した」と述べた。

輸入禁止に関する中国当局からのコメントはないが、中国国家品質監督検査検疫総局はウェブサイトに掲載した声明で、仏ダノンの子会社デュメックス・ベビーや、中国の飲料大手、娃哈哈集団の子会社 2 社など計 4 社が、フォンテラから問題の製品を輸入した可能性があるとしている。

またフォンテラは、米コカ・コーラの中国子会社やニュージーランド、オーストラリアの飼料会社も影響を受けたとしている。

中国国家食品薬品监督管理局 (SFDA) は、娃哈哈、デュメックス、コカ・コーラ中国子会社に対し、汚染の可能性のある製品の販売を停止し、可能な限り早期に対象製品のリコールを実施するよう要請したことを明らかにした。

***特徴的なチョコレート**を毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております!!こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp